

## 2015 年度大学入試センター試験 解説 <英語(筆記)>

### 第1問

A

#### 【解説】

問1  正解 ②

下線部の発音は②が[ei], その他はすべて[æ]である。

問2  正解 ①

下線部の発音は①が[ʌ], その他はすべて[u]である。

問3  正解 ①

下線部の発音は①が[ʒ], その他はすべて[ʃ]である。

B

#### 【解説】

問1  正解 ②

modest は第1音節にアクセントがある。他はいずれも第2音節を最も強く読む。

問2  正解 ④

dinosaur は第1音節に第1アクセントがある。他はいずれも第2音節を最も強く読む。

問3  正解 ④

sufficient は第2音節に第1アクセントがある。他はいずれも第1音節を最も強く読む。

問4  正解 ③

complicated は第1音節に第1アクセントがある。他はいずれも第2音節を最も強く読む。

### 第2問

A

#### 【解説】

問1  正解 ①

「またおじいさんを怒らせてしまったのかい? そんなばかなことはすべきじゃないよ」

know better than (to do) that で、「そんなことをするよりもっと分別がある, そんなことをするほど愚かではない」の意味の定型表現。③は「～で済ます, 間に合わせる」, ④は「～と仲直りする」の意味で文脈が通らない。

問2  正解 ③

「スコットは, コンピュータを盗まれたので, 警察署に行った」

<had+O (his computer) +過去分詞 (stolen)>で「Oを～された」の意味になる第5文型。他の選択肢はどれも文型的に成り立たない。

問3 10 正解 ③

「この前の冬は、北日本で雪がほとんど降らなかった点で、かなり異常だった」

in that SV で「～という点で、～なので」の意味になり、③が正解。なお、that 節を目的語にできる前置語は、この in と except [but, save]などに限られる。

問4 11 正解 ②

「私の孫娘は、歌手の道を歩み始めたが、実は私は彼女には将来女優にもなってもらいたいと思っている」

文末に in the future (将来に) とあるので、今後のことを願う hope S will do の形式の②が正解。なお、wish を用いると後の節内は仮定法になるので、本問では wish she would become などにする必要がある。

問5 12 正解 ①

「私はぐっすり眠っていたので、今朝の2時に起きた自動車事故の音は聞こえなかった」

過去に起きたことを表す文脈なので、単純過去形の①が正解。happen は自動詞で受動態にはならないので、③は不適。また④の would も文法的に説明がつかない。

問6 13 正解 ③

「私は、海の眺めを楽しみながら、いつも海岸沿いに犬を散歩させている」

分詞構文の③が正解。空所の後に目的語 (the sea view) が続いているので、受動態の①は不適。また、without *doing* (～しないで) は可能だが、④の <with + *doing*> の形は「～しながら」の意味では用いない。

問7 14 正解 ①

「富士山が、青空を背に見事にそびえ立っている」

「～を背景に」を意味する①の against が正解。他の前置詞では意味を成さない。

問8 15 正解 ④

「すみません。たった今話したばかりですが、最善の解決策は何だとおっしゃいましたか」

do[*did*] you say[*think*]に間接疑問が続く場合、疑問詞を文頭に出すのが普通である。本問では、疑問文 What was the best solution?が間接疑問 what the best solution was となり、what だけが did you say の前に出る。よって④が正解。

問9 16 正解 ②

「インターネットは実に強力な道具になったので、どこに住んでいても、どんな教育資源にもアクセスできる」

<so + 形容詞 + a/an + 名詞>の語順と <so ... that SV (とても…なので～)>の構文の組み合わせとなる②が正解。なお、④は、such の後が a powerful tool の語順なら可となる。

問10 17 正解 ④

「監督はチームがサッカーのリーグ戦に勝つだろうと言ったが、実際その翌シーズンにその通りになった」

文脈から空所(A)には said の表す過去の時点から見た未来を表す would が入り、空所(B)にも、その時点から見て「次の」を意味する the next が入る。よって④が正解。will や next は、現在から見た「未来」や「次の」を表す。

## B

### 【解説】

問1  ・  正解 ⑤・⑥ (③⑤②④⑥①)

ユキ：以前お会いしたことがありますか？ あなたの顔、私にはとても見覚えがあるのだけれど。

アン：会ってないと思うわ。もし会ったことがあれば、私は、きっとあなたに気づいたはずよ！

完成した英文は、(If we had met,) I would have recognized you for (sure!)となる。ポイントは、仮定法過去完了の帰結部<would have+過去分詞>と熟語 for sure (きっと、確かに)である。

問2  ・  正解 ⑤・① (⑥⑤②③①④)

客：車のレンタル期間は延ばせますか？

業者：はい、ですが1日追加するごとに50ドルの割り増し料金が請求されます。

完成した英文は、(Yes, but) you will be charged an extra fee of (\$50 for each additional day.)となる。ポイントは、第4文型 charge A B (A<人>にB<代金>を請求する)の受動態と、同格を表す前置詞 of の用法。空所の直後の\$50から、A<人>を主語にした受動態になると判断する。

問3  ・  正解 ④・⑤ (①④③⑥⑤②)

レイコ：今夜は料理を作る、それとも何か中華料理を注文する？

キョウコ：疲れていて料理をする気になれないから、中華を注文しましょう。

完成した英文は、(Let's order Chinese) because I'm feeling too tired to start cooking(.)となる。ポイントは、第2文型 feel tired の進行形と不定詞を用いた<too ... to do (～するには…すぎる)>の構文である。

## C

### 【解説】

問1  正解 ⑦

客：先週この店でこの本を買ったのですが、真ん中の数ページが抜けているのです。

店長：レシートをお持ちですか？ それをご提示いただけないと、

空所の前の方のやり取りから、I'm afraid we can't exchange it for a new copy. (それを新しい本と交換できません)の意味になる⑦が正解。exchange A for Bで「AをB(別のもの)と取り替える」。

問2  正解 ⑥

エレナ：あなたが着いて、ほっとしたわ。飛行機の出発まで、あと40分よ。

ユウコ：そうなのよ！

空所の前の方のやり取りから、Thanks to John driving me here, I'm in time. (ジョンがここに車で送ってくれたおかげで、間に合ったわ)の意味になる⑥が正解。thanks to (～のおかげで)の後には名詞または動名詞が続く。Johnは動名詞 driving の意味上の主語である。

問3  正解 ①

ソフィー：あのきれいなチョウを見て！ 一匹つかまえて、家に持ち帰りましょうよ。

ヒデキ：だめだよ。  見て楽しむだけにしなきゃ。

前後の文脈から、I wouldn't dream of doing such a thing! (僕は、そんなことをするなんて夢にも思わな

い) の意味になる①が正解。dream of *doing* で「～することを夢見る」。動詞の dream は to 不定詞を目的語に取らない。

## 第3問

A

### 【解説】

問1  正解 ④

ヒロ：この週末は何をしたの？

デイビッド：ショッピング・モールに行ったよ。春の大セールをやっていたんだ。

ヒロ：何かいいもの買った？

デイビッド：ああ、新しいジャケットを買ったよ。

ヒロ： ドライ・クリーニング屋さんに行かなくちゃ。僕のジャケットを受け取りに行かなきゃならないんだ。

- ① 思い出せない。
- ② そのことを思い出した。
- ③ 覚えておきなさい。
- ④ それで思い出した。

空所直後のヒロの発言から、直前のデイビッドの発言によってヒロはクリーニング屋に預けてある自分のジャケットのことを思い出したことがわかる。よって④が適切。

問2  正解 ②

エイミー：テニスの試合はどうだったの？ 優勝した？

ミキ：いいえ。決勝戦で負けたわ。疲れて緊張しすぎたのね。

エイミー：それは残念だったわね。

ミキ：いいのよ。 次の大きな試合の前には休息とリラックスが大事だとわかったから。

エイミー：きっと来年はもっといいプレーができると思うわ。

- ① 決勝で負けたらよかったわ。
- ② 結局私にはいい教訓になったわ。
- ③ 今までで一番楽しい試合だったわ。
- ④ テニスをするのを完全にやめたわ。

空所前後のミキの発言から、今回の敗戦の経験を活かして次の試合に臨む決意であることがわかる。よって②が適切。

B

### 【解説】

問1  正解 ②

切手収集が趣味として優れている点を列挙することが本文の趣旨である。よって、この趣味が生まれた経緯について述べた②は、この趣旨と無関係である。

## 【全文訳】

切手収集は費用がかからず、いつでも好きなときに楽しめる教育的な趣味である。①それは、世界中の様々な国々の歴史、地理、有名人、そして慣習について学ぶ、すばらしく実践的な方法を提供してくれる。②この趣味は、1840年に大英帝国で世界で初めて郵便切手が発行されてまもなく始まった。③また、お金を使わなくても、受け取った封筒の切手を取っておけば始めることができる。④さらに、天気の良い悪しにかかわらず、いつでも収集に取り組むことができる。もし、新しい趣味を探しているなら、切手収集はあなたにぴったりかもしれない。

問2 30 正解 ④

塩が貨幣として有効である理由を列挙することが本文の趣旨である。よって、塩の貨幣以外の用途について述べた④は、この趣旨と無関係である。

## 【全文訳】

比較的最近まで、世界のある地域の人々は塩を一種の現金として使い続けていた。塩がお金として使われた理由はいくつかある。塩が経済的価値を与えられたのは、塩を大量に生産する場所が実に少なかったからである。①もう1つの理由は、塩が取引のため持ち運ぶのに結構軽くて容易であるという点である。②また、塩は計量可能なので、その重さに基づいて容易に価値を計算することができる。③さらに塩は、実に長い間よい状態を保つので、その価値が変わらない。④最後になるが、大事なことは、塩には雪深い地域において路上の氷を解かすなど、他にも多くの用途がある点である。つまり、塩には、お金としての適した諸特徴がある。

問3 31 正解 ①

テレビ局が視聴者獲得競争のため、番組の開始や終了の時刻を正時からずらしたことが本文の趣旨である。①の時間帯による番組の種類は、それと直接的な関係がない。よって①が正解。

## 【全文訳】

過去において、ほとんどの日本のテレビ番組は、ちょうど正時に始まり、また終わっていた。①テレビ番組は、テレビ局ごとに相違はあるが、たいがい早朝の時間帯はニュース番組で、夕方時間帯はバラエティ番組で占められている。②競争のため、放送局の中には少し早く番組を始めることで、ライバル局より有利になるようにするものがあつた。③1つの番組の終り近くにチャンネルを次々回し始める人々が多いので、放送局は、もし番組を数分早く始めれば、人々はそれを見始めるだろうと考えた。④もう1つの戦略は、人々が1つのチャンネルに貼り付いて、他のチャンネルの番組の開始を見逃すように、人気番組を正時より少し後に終わらせることだつた。今では多くのテレビ局がこうした戦略を採用したので、どの局の有利性も失われてしまった。それでも、多くのテレビ局は視聴者を逃すことを恐れて、この慣例を続けている。

C

## 【解説】

32 正解 ②

- ① 迷信は、ある種の日付と数字に理性的に基づいている
- ② 迷信は、私たちの周囲で起こる不思議な出来事を説明するのに使うことができる
- ③ 迷信的な人々は、人種と文化が運に関係していると思っている
- ④ 迷信的な人々は、歴史に関して同じ信念をいだく傾向がある

2つ前の文でジョセフは「迷信を信じることは、運不運を感じさせる尋常でない一連の出来事を人間が理解する方法の1つです」と述べている。よって②が正解。

**33** 正解 ②

- ① 「雨男」、つまり Rain-man は空から雨を降らせる
- ② 偶然の出来事や偶然のパターンが迷信を作り出すこともある
- ③ パターンを探することは、人間にとって不自然な行為である
- ④ 原始的な信仰体系は、偶然の出来事を作り出す

ジョセフは、試験に受かる「幸運な鉛筆」や「雨男」の例を挙げて、「偶然の出来事に人間が誤ってパターン認識を適用することで迷信が生まれる」という趣旨の発言をしている。よって②が正解。

**34** 正解 ①

- ① ハトと人間は、両方とも迷信的な行動を取る
- ② ハトと人間は、両方とも機械に影響を与える傾向がある
- ③ ハトはいつ餌が与えられるか知っていた
- ④ ハトの反復動作は餌の配給に影響した

2つ前の文でリリーは「彼（＝その心理学者）は、私たち人間も（ハトと）同じことをして、非論理的な行動をすることで将来の出来事に影響を与えようとしている（＝迷信的な行動を取る）のではないかと考えました」と述べている。よって①が正解。

## 【全文訳】

司会：今日の討論のタイトルは、「迷信—その真相と人々がそれを信じる理由」です。ゲスト発言者は、ここ日本にお住まいで大学教授をしておられるジョセフ・グラントさんと、カナダ出身の客員教授リリー・ネルソンさんです。ジョセフさん、迷信とは何かを説明していただけませんか？

ジョセフ：迷信とは、明確で理性的な根拠のない信仰のことです。たとえば、人々が迷信にしている日付や数がいろいろあります。「13日の金曜日」を不吉と思う地域は多いですし、ここ日本では、4と9も不吉と考えられています。対照的に、7は「ラッキー7」として知られています。迷信的な人は、ある数を選んだり避けたりする行為が、まったく直接的な関係はないのに、将来の出来事に影響することもあると信じています。迷信を信じることは、運不運を感じさせる尋常でない一連の出来事を人間が理解する方法の1つです。このことは、人種や文化的背景と関係なく、歴史を通して確かだったように思われます。

司会：では、あなたのご意見は **32** 迷信は、私たちの周囲で起こる不思議な出来事を説明するのに使うことができるということですね。

ジョセフ：その通りです。迷信は、原始的な信仰体系と偶然の一致、つまり、たまたま起こる事柄との組み合わせから生じる傾向があります。

司会： それについて、もっと話していただけますか？

ジョセフ： 原始的な信仰体系は、私たちの周囲の世界にパターンを探そうとする人間の自然な傾向から発達します。パターンに気づけば、私たちは物事を素早く学ぶことができます。しかし、時には、一連のテストに毎回同じ鉛筆を使って合格するように、偶然やたまたま同時に起きる出来事がパターンと勘違いされます。鉛筆は試験に合格することと無関係ですが、偶然のつながりから「幸運の」鉛筆となります。それで、私たちは、2つの出来事を結ぶ自然な過程が何もなくても、ある出来事が別の出来事を引き起こすと信じるようになる可能性があります。私自身、日本の友人たちに「雨男」、つまり Rain-man と呼ばれたときに、それを経験しました。偶然、私は雨が降っているときに居合わせたので、「雨を降らす」という評判)をもらいました。理性的に言えば、空から雨を降らせることは誰にもできないと分かっているながら、私たちの原始的な信仰体系は、偶然と結びついて、「雨男」に関する迷信を作り出すのです。

司会： 実に面白いですね。では、あなたは、33 偶然の出来事や偶然のパターンが迷信を作り出すこともあるとおっしゃっているのですね。

司会： リリーさんは、いかがでしょうか？ ジョセフさんに賛成ですか？

リリー： はい、特に偶然の一致や偶然に関する考えに関しては賛成です。人間の行動をもっとよく理解しようとして、あるアメリカの心理学者が有名な実験を行いました。餓えた鳥の集団に関するもので、「ハトの迷信」と呼ばれています。ハトたちはカゴに入っていて、餌をやる機械が一定の時間間隔で少量の食べ物を自動的に与えました。心理学者は、ハトたちが食べ物を与えられるときに必ず取った特定の動作を繰り返し始めるのに気づきました。彼は、ハトたちがその反復動作で機械に影響を与えて食べ物を配らせようとしているのだと思いました。彼は、私たち人間も同じことをして、非論理的な行動をすることで将来の出来事に影響を与えようとしているのではないかと考えました。迷信的な人間は、「迷信的な」ハトたちと同様、論理的な関係はなくても、ある行動をある結果に結びつけてしまうのです。

司会： つまり、その心理学者は、その実験から、34 ハトと人間は、両方とも迷信的な行動を取ると考えたのですね。

リリー： はい、その通りです。

司会： ジョセフさん、リリーさん、迷信と人々が迷信的である理由に関する知識を話していただき感謝いたします。では、ここでちょっと休憩を取り、さらに議論を続けましょう。

## 第4問

A

【解説】

問1 35 正解 ④

「図1において、(A)、(B)、(C)は次のどれを指すか」

① (A) 親 (B) 生徒 (C) 教師

② (A) 親 (B) 教師 (C) 生徒

③ (A) 生徒 (B) 親 (C) 教師

④ (A) 生徒 (B) 教師 (C) 親

第 2 段落の第 2 文に「図 1 は 4 分の 1 を超える生徒が『安全』を選んだことを示している」とあり、「Safe (安全)」を表す棒グラフから(A)が生徒だとわかる。同じ段落の最終文末に「親や教師は SNS の使用に伴う危険について警戒心が強く、教師の方が大変危険と見なす傾向がわずかに高い」とあるから、「Very Risky (とても危険)」の棒グラフから、(B)は教師、(C)は両親だとわかる。よって④が正解。

問2 36 正解 ①

「7 学年の生徒が最も危険であると思われる理由の 1 つとして述べられていることは、次のどれか」

- ① 彼らは、SNS の使用に際して安全に最も注意していない。
- ② 彼らは、SNS が「安全」だと思う可能性が最も低い。
- ③ 彼らは、SNS が「とても危険」だと思う可能性が最も高い。
- ④ 彼らは、SNS を友人と連絡を取るために使用する可能性が最も高い。

第 4 段落最終文に、「7 学年の生徒たちは、情報の安全性について最も警戒心が弱いことに加えて、SNS の使用を『安全』または『少し危険』なだけだとみなす傾向があったので、彼らは最も大きな危険にさらされていると思われる」とある。よって①が正解。なお、図 2 から②や③を排除することはできるだろうが、①の正否を上記述部分を見捨て、「安全」や「少し危険」の棒グラフの示す値（あるいは両者の合計値）だけから判断するのは危険である。

問3 37 正解 ②

「この文章の主たる目的は、…ことである」

- ① SNS 使用の様々な危険を記述する
- ② SNS の危険に関する意識の違いを論じる
- ③ SNS を生徒がより多く使用している理由を説明する
- ④ SNS に関する問題の解決方法を提案する

②が本文全体の趣旨をバランスよく表しており正解となる。①に関しては第 1 段落の最終文末に「プライバシー問題や好ましくない出会い」とある程度で、その後も新たな危険については触れていない。③に関しては第 1 段落の第 1 文末に「友人や家族と連絡を保つために使われる」と軽く言及があるにすぎない。④の「解決方法」に関しては最終段落の「若者と大人との話し合い」がそれを思わせるが、「提案」とまで言えない。

問4 38 正解 ②

「最終段落に続く可能性がある話題はどれか？」

- ① SNS の使用に際して生徒たちが直面する様々な危険の例
- ② 生徒たちと大人たちの答えが異なる理由
- ③ 生徒たちと大人たちのインターネット使用法における傾向
- ④ SNS を使用する若い生徒たちの数の減らし方

最終段落の第 3 文以下に「91%を超える親と 68%の教師が生徒たちと SNS 問題について話し合っていると

言っていることが研究からわかった一方で、ほぼ半分の生徒（46.1%）が親と話していないと答え、ほぼ4分の3の生徒（74.6%）が教師と話していないと答えた。この差に関しては、いくつかの説明が考えられる」とある。したがって、次に続く可能性があるものは②の「生徒たちと大人たちの答えが異なる理由」である。

## 【全文訳】

ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）は、使用者が他人と意思伝達をできるようになるオンライン・サービスであるが、ますます多くの若い人たちによって友人や家族と連絡を保つために使用されている。しかし、このように若い人たちが SNS を使うことが多くなり、親や教師にはますます不安が積みまとうようになってきている。彼らは、プライバシー問題や好ましくない出会いなどを含めて、若い使用者たちが SNS の使用に伴う危険に対して備えがあるのか心配している。

2011 年のある調査では、オーストラリアの親、生徒、教師に SNS の使用時における危険度に関する認識について、具体的にそれが「安全」、「少し危険」、「とても危険」、「危険だが皆がしている」と思っているのかどうかを尋ねた。表1は4分の1を超える生徒が「安全」を選んだこと、つまり彼らが SNS の使用に危険はないと感じていることを示している。さらに生徒の 19.6%は、危険は承知しているが、それでも「皆がしていること」だからという理由で SNS を使用していると答えた。その生徒たちの答えと対照的に、彼らの親や教師は SNS の使用に伴う危険について警戒心が強く、教師の方が大変危険と見なす傾向がわずかに高い。

（図は省略）

興味深いことに、生徒の全てが危険に関して同じ認識を持っているわけではない。図2は、学年ごとに生徒間の比較を示したものである。「7 学年」は中学1年生を指し、「10 学年」は高校1年生を指している。SNS の使用が「安全」だと答えた生徒の割合は、学年と関係なくほとんど同じであったが、「少し危険」を選んだ生徒の割合は学年ごとに下がり、「危険だが皆がしている」を選んだ生徒は逆に増えた。

さらに、その研究では生徒たちに情報の安全性について尋ねた。7 学年から 10 学年の生徒は徐々にプライバシーについて警戒心が強くなり、誰が彼らの個人情報をオンラインで見られるのかに関して学年を追うごとに注意深くなることがわかった。7 学年の生徒たちは、情報の安全性について最も警戒心が弱いことに加えて、SNS の使用を「安全」または「少し危険」なだけだとみなす傾向があったので、彼らは最も大きな危険にさらされていると考えられた。

次にその研究では、大人たちが SNS の危険について若者たちと話しているかどうかを調べた。しかし、この点に関する結果は明確なものではなかった。91%を超える親と 68%の教師が生徒たちと SNS 問題について話し合っていると言っていることが研究からわかった一方で、ほぼ半分の生徒（46.1%）が親と話していないと答え、ほぼ4分の3の生徒（74.6%）が教師と話していないと答えた。この差に関しては、いくつかの説明が考えられる。

## B

### 【解説】

問1 39 正解 ②

「水に関係する活動が好き男性が、このウェブサイトを見ている。彼が最も興味を抱きそうなキャンプ場はどれか」

- ① アプリコットキャンプ場とメイプルキャンプ場
- ② メイプルキャンプ場とオレンジキャンプ場
- ③ オレンジキャンプ場とストーンヒルキャンプ場
- ④ ストーンヒルキャンプ場とアプリコットキャンプ場

各キャンプ場の紹介文の中で水泳や釣りなど水に関係する活動に言及があるのは、メイプルキャンプ場とオレンジキャンプ場だから、②が正解。

問2 40 正解 ③

「2 人がグリーン国立公園に9泊する計画を立てている。彼らは自然を楽しみたいが、コンピュータを使うために電力供給が必要である。彼らを選びそうな場所は1泊いくら払わなければならないだろうか」

- ① 20 ドル
- ② 24 ドル
- ③ 32 ドル
- ④ 96 ドル

キャンプ場情報の一覧表を見て、Max. Stay (最長宿泊日数) が9日以上で、Facilities (設備) に電力供給可能の印 (E) があるのは、ストーンヒルキャンプ場だけである。その1泊料金は32ドルとある。よって、③が正解。

問3 41 正解 ①

「4 人家族が犬と一緒に4日間のキャンプ旅行を計画している。彼らのキャンプ地に対する予算は、3泊で100ドル未満である。旅行に対する彼らの主な興味は、国立公園でのバーベキューと自転車乗りである。この家族が最も選びそうなキャンプ場は、どれか」

- ① アプリコットキャンプ場
- ② メイプルキャンプ場
- ③ オレンジキャンプ場
- ④ ストーンヒルキャンプ場

この家族はバーベキューと自転車乗りに興味があるから、キャンプ場情報の一覧表の Facilities (設備) にバーベキューグリルの表示 (BG) がある①か②にしぼられる。自転車乗りに関しては、各キャンプ場の紹介文から、②は排除され①が正解となる。なお、「犬を連れていく」ことから、キャンプ場情報の一覧表の Restrictions (制限事項) に No Pets (ペット禁止) とある③は除外される。また、「キャンプ地に対する予算は3泊で100ドル未満」という条件は、①と②と④に当てはまり、解答を導く助けにはならない。

【全文訳】

## グリーン国立公園キャンプ場ガイド

グリーン国立公園のキャンプ場は、4月1日から11月30日まで開いています。

### アプリコットキャンプ場

当キャンプ場から出るウォーキング道は、グリーン山の頂上に続いています。頂上からの素晴らしい景観をお楽しみください。森の自転車道ではサイクリングも楽しめます。

### メイプルキャンプ場

メイプルキャンプ場は、グリーン川に直行できます。釣り、ボート遊び、水泳などのスポーツをお楽しみください。川辺ではキャンプファイアーも楽しめます。

### オレンジキャンプ場

当キャンプ場は、オレンジ湖湖畔にあり、快適な野外体験を提供いたします。湖では水上スキーが人気です。他の活動に釣り、水泳、バードウォッチングなどがあります。

### ストーンヒルキャンプ場

松の木林がストーンヒルキャンプ場を囲んでいます。巨大な松の木が印象的です。森の中で自転車乗りやハイキングをしながら、多くの野生動物と出会えます。

## キャンプ場情報

キャンプ場	サイトタイプ (利用可能な場所数)	サイト料金(1泊)	Max.人数	Max.宿泊数	設備	制限事項
アプリコット	テント(15)	20ドル	4人	15泊	BG	—
メイプル	テント(20)	24ドル	5人	12泊	BG PG	—
オレンジ	デラックス・ キャビン(5)	96ドル	7人	7泊	K E HS	ペット禁止
ストーンヒル	スタンダード・ キャビン(10)	32ドル	6人	14泊	E HS	花火禁止

サイト料金=1サイトの料金(最大人数まで);Max=最大

K キッチン, E 電気, BG バーベキューグリル, HS ホットシャワー, PG 温水シャワー

## 第5問

### 【解説】

問1  正解 ③

「アナはシカゴの学校ではおそらくどのような様子だったか」

- ① 彼女は教室で一人であるのが好きだった。
- ② 彼女は自分の日本語の能力を見せびらかした。
- ③ 彼女は友達と多くの時間を過ごした。
- ④ 彼女は他の生徒たちをうらやんでいた。

ホイットモア氏が岡本先生に宛てたメールの第2段落第5文では、アナが休み時間に1人で読書していることが、第6文では、毎日1人で通学していることが語られている。これについて、続く最終文で「これは、アメリカでの彼女の様子と大変異なっています」と述べられている。したがって、アナはアメリカでは1人ではなく友人と多くの時間を過ごしていたと判断でき、③が正解。①、②、④のような記述はない。

問2  正解 ③

「ホイットモア氏のEメールの第2段落にある has a penchant for という語句に意味が一番近いのは、 である」

- ① ~を集めている
- ② ~を交換している
- ③ ~が大好きである
- ④ ~に確信がない

下線部の直後の部分に、「(彼女は) 数学の授業が大好きです」とあるから、アナは数字が好きだと推測できる。したがって、③が正解。have a penchant for は「~に強い好意を持つ」の意味である。

問3  正解 ④

「Eメールのメッセージ内の情報によれば、次の記述のうちで正しいものはどれか」

- ① アナは家で両親と自分の学校生活について話をしない。
- ② アナは英語の授業よりも日本語の授業の方が好きである。
- ③ ホイットモア氏はアナの学業成績について心配している。
- ④ これはホイットモア氏が岡本先生に送った最初のEメールのメッセージである。

ホイットモア氏が岡本先生に宛てたメールの第3段落第4文で、「私は今まで1度も娘の学級担任と連絡をとったことはありません」と述べられているので、④が正解。第2段落から、アナは学校生活について話していることがわかるので、①は誤り。第2段落第1文で、「彼女は、よい成績をとっていますし、授業や先生方を気に入っています」とあるので、③は誤り。②のような記述はない。

問4  正解 ④

「ホイットモア氏とは異なり、岡本先生はアナが  と考えている」

- ① 彼女のクラスの他の生徒たちから孤立している
- ② 学校で多くの時間を読書に費やしている
- ③ よい成績をとるのに苦労するだろう

④ 特別な助けなしで友達を作るだろう

岡本先生がホイットモア氏に宛てたメールの第 1 段落第 3 文で「彼女がクラスの他の生徒たちとうまくやっているように思われる」、第 4 段落第 1 文で「遅かれ早かれ自分自身で、友人関係を築くだろう」と述べられているので、④が正解。①、②は、ホイットモア氏がメールで述べていることである。また、岡本先生はアナの学業については触れていないので、③も不適。

問5 46 正解 ④

「ホイットモア氏に対する岡本先生の提案でないものはどれか」

- ① アナをスポーツクラブか音楽クラブに参加させる。
- ② アナの級友をイベントに招待する。
- ③ アナを英語クラブに参加させる。
- ④ アナをニュージーランド旅行に連れていく。

岡本先生がホイットモア氏に宛てたメールの第 2 段落第 2・3 文に①の提案が、第 3 段落第 3 文に②の提案が、第 2 段落第 6 文に③の提案が、それぞれ述べられている。第 2 段落第 7 文に、岡本先生がニュージーランドで過ごしたことがある生徒を知っているという記述はあるが、ニュージーランド旅行を提案しているわけではない。したがって、④が正解。

## 【全文訳】

---

送信者: Jeff Whitmore <JeffW@xxxxxx.com>

受取人: Kenji Okamoto <okamoto@xxxxxx.com>

日付: 2015 年 1 月 10 日

件名: アドバイスの依頼

---

岡本先生へ

私の名前は、ジェフ・ホイットモアと申しまして、私の娘アナは、先生の生徒のひとりです。ご存じのとおり、私たちは、3 年間シカゴに住んだ後、6 カ月前に日本に戻ってきたばかりです。私たちがシカゴに行く前、彼女は日本の学校に通っていましたが、今はアナにとって日本の中学校の 1 年目です。妻と私は、彼女が少し心配です。そして、先生にアドバイスをいただけないかと思っています。

彼女は、よい成績を取っていますし、授業や先生方を気に入っています。特に、数字が大好きで、数学の授業が大のお気に入りです。彼女は、先生の楽しい英語の授業についてもよく話をします。しかし、およそ半年がたつのに、彼女はまったく友達がいないようなのです。先週、彼女は、授業間の休み時間に、他の女の子たちは友達同士集まって、おしゃべりしたりしているのに、自分はたいてい 1 人で本を読んでいる、と言いました。アナはまた、毎日学校に 1 人で歩いて行っている、と言いました。これは、アメリカでの彼女の様子とは大変異なっています。

私は、新しい学校で友達を作るのに時間がかかることがあると理解はしていますが、それでも彼女は少々孤立しているかもしれないという懸念を持っています。私は、彼女ができるだけ早く、仲の良い友達のグル

ープか作る方がよいだろう、と思っています。親友がたった 1 人でできるだけでも、幸先の良い第一歩になるでしょう。私は今まで 1 度も娘の学級担任と連絡をとったことはありませんので、先生にご迷惑をおかけしていないことを望みます。私はただ、先生の方が娘の学校生活についてご存知かもしれない、と思ったのです。どうすれば彼女がより多くの人間関係を築けるかについて何か考えがございましたら、お聞かせいただければ幸いです。

敬具

ジェフ・ホイットモア

---

送信者: Kenji Okamoto <okamoto@xxxxxx.com>

受取人: Jeff Whitmore <JeffW@xxxxxx.com>

日付: 2015 年 1 月 11 日

件名: Re: アドバイスの依頼

---

ホイットモアさんへ

担任をしている生徒の保護者の方から便りをもらうことは、いつもうれしいものでして、私はできることでしたら、喜んで尽力いたします。私は、何回かアナと 2 人だけで話をしたことがあり、彼女は自信があつて、友好的な、とても気持ちのよい人物だと思っています。実は、彼女がクラスの他の生徒たちとうまくやっているように見えるので、お父様の心配をお聞きして驚いています。おそらく彼女はすぐに親しい友人関係を築くでしょうが、彼女がそうすることの助けとなるかもしれない、お父様にお考えいただきたいアイデアが私にはいくつかあります。

第一に、私たちの学校には、友情を育むのにより環境を提供する、様々なクラブがあります。私は、彼女が音楽を楽しんでいることを知っているのので、おそらく彼女は合唱部に入りたいかもしれません。もし彼女がスポーツの方が好きであれば、バレーボール部、サッカー部、そして空手部まであります。また、私は現在、新しい英語クラブを作っているところです。私たちは、週に 1 度会って、英語で話したり、音楽や映画を楽しむ予定です。もしアナが参加して、さらに主導的な役割を担うことにでもなれば、彼女は、英語という共通の興味を持った他の生徒たちとつながりを持つことができます。私は、ニュージーランドで過ごしたことがあって、クラブに参加するつもりでいる他のクラスの日本人の生徒を知っています。彼女たちには共通点がたくさんあるかもしれません。

もう 1 つの方法は、彼女が目玉的になれるような交流の場を作ることです。アナは私に、アメリカでは庭でバーベキューパーティーをよく開いた、と言いました。できれば、アメリカ式のバーベキューパーティーを開いて、彼女のクラスの何人かの生徒たちを招待してみてもどうでしょう。きっと彼女たちにとって、わくわくするような経験になるでしょう。ことによると、アナ自身ももっとくつろげて、友達が彼女のことをもっとよく知るようになることもあるかもしれません。

私の経験から、正直なところ、お父様が心配することは何もない、と思っており、お嬢さんは、遅かれ早かれ自分自身で友人関係を築くだろう、と確信しています。しかし、もしお父様が、私のアイデアが役に立つと感じるのなら、どうぞお知らせください。私たちは、次の段階を検討することができるでしょう。

敬具

岡本ケンジ

## 第6問

### 【解説】

A

問1  正解 ④

「段落(1)において、市民科学者は  」

- ① 自分たちのデータを他のボランティアのものと比較する
- ② 自分たちが集める情報でお金を稼ぐ
- ③ 実験室で昆虫のライフサイクルを観察する
- ④ 専門家に自分たちの結果や活動を報告する

段落(1)において、バーバラは「プロの科学者と集めたデータを共有する」、アントニオは「科学者に調査結果を提出する」、エミリーは「地元の大学にレポートを提出する」とあるので、④が正解。最終文に、「バーバラやアントニオ、エミリーの労力に対して誰も報酬を支払っていない」とあるので、②は誤り。①、③のような記述はない。

問2  正解 ②

「段落(2)にある *burgeoning* という単語に意味が一番近いのは  である」

- ① 議論を引き起こしている
- ② 急速に増加している
- ③ 人気を失っている
- ④ 賞を受けている

第2段落第4～6文では、市民科学というものの歴史がそれほど新しいものではなく、古くから存在することが述べられている。これに続く第7文は *However*（しかしながら）という逆接語で始まっているので、その後は「市民科学プロジェクトはこれまでに増加している」という内容になるはずである。コロンの後に「60以上の市民科学プロジェクトがアメリカ生態学会の会合で言及された」とあることも、市民科学プロジェクトが増加していることを裏付ける。したがって、②が正解。*burgeon* は元来「芽吹く」の意味だが、そこから派生して「急に発展する、急増する」の意味でも使われる。

問3  正解 ②

「段落(4)において、なぜ筆者は80%の成功率を強調しているのか」

- ① 成人の成功率と否定的な対比をするため

- ② 全体的な結果が高い質であることを証明するため
- ③ いかにも多くのカニがいるかを強調するため
- ④ 小生徒の技能不足を明らかにするため

段落(4)の第1文に端的に示されているように、この段落では市民科学が信頼できることを示す2つの例が挙げられている。第4文に登場する「小学3年生の生徒でさえ成功率が80%だったことがわかった」はその1つめの例を説明する文中にあるので、②が正解。

問4 **50** 正解 ②

「段落(6)において、どのような個人的見解が述べられているか」

- ① 結局のところ、科学的知見は主にアマチュアから出てくるだろう。
- ② 市民科学の利点を認めている科学者はまだ不十分である。
- ③ ボランティアのデータに頼る最近の変化は嘆かわしい。
- ④ 市民科学を用いた研究が現在行われすぎている。

段落(6)の第2文に「私たちは、市民科学の可能性を認識し始めたばかりである」とあり、第3文に「ボランティアがプロの研究にいかにも多く寄与しうるかを、より多くの科学者が理解する必要がある」とあるので、②が正解。①、③、④のような記述はない。

問5 **51** 正解 ①

「この記事において、筆者が主に伝えたかったことは何か」

- ① 市民科学は、ボランティア、専門家、そして社会のためになる。
- ② 科学的な調査は専門家に任されるべきである。
- ③ 魚の種を特定するボランティアには長い歴史がある。
- ④ 伝統的な科学は市民科学に取って代わられた。

段落(5)において、市民科学は、科学界だけでなく、一般大衆にとってもよいものである、と述べられている。したがって、①が正解。記事全体を通して、筆者が市民科学に肯定的な立場であることは明らかであるので、②は誤り。③のような記述はない。また、段落(6)で、市民科学はまだ十分に認識されていないことが述べられており、最終文に「『人々のための科学』という古い保守的な見方を、『人々による科学』というより民主的な見方を含む見方に広げるべき時は、今である」とあるので、④は誤り。

B

正解 52 ③ 53 ① 54 ② 55 ④

段落	内容
(1)	導入：著者の個人的な例
(2)	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">52</span>
(3)	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">53</span>
(4)	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">54</span>
(5)	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">55</span>
(6)	結論：著者の将来への希望

- ① 懸念：ボランティアの技能と知識
- ② 証拠：成功したボランティアの尽力
- ③ 説明：定義と歴史
- ④ 意見：すべての関係者にとっての利点

段落(2)では、市民科学とはどのようなものであるかについて、その定義と歴史が述べられており、これは③「説明：定義と歴史」に相当する。段落(3)では、市民科学の信頼性に関して否定的な意見があることが述べられており、これは①「懸念：ボランティアの技能と知識」に相当する。段落(4)では、市民科学の信頼性について、最近の 2 つ研究が例に挙げられており、これは②「証拠：成功したボランティアの尽力」に相当する。段落(5)で、筆者は市民科学が科学界と大衆の双方に利点があると主張しており、これは④「意見：すべての関係者にとっての利点」に相当する。

**【全文訳】**

**ハチを捕まえたり、魚を数えたりすること どのように「市民科学」は役立つのか**

- (1) ここテキサスは晴れ渡った午後で、私の妻のバーバラは、また公園にいて、オオカバマダラが産んだ卵の数を数えて、記録している。彼女は、データを集めたあと、彼女を採用したプロの科学者と、それを共有するのである。別の州では、私たちの友達のアントニオが、1年に4回、12の異なる場所を訪問して、カエルの声に耳をすます。今ではもう、彼はほぼ20年間も科学者に調査結果を提出し続けている。そして、国の反対側では、姪のエミリーが、土着のハチを捕まえて、それらに小さなタグを付けて、地元の大学の生物学部に週間報告を提出している。バーバラやアントニオ、エミリーの労力に対して誰も報酬を支払っていないが、3人とも自分が「市民科学者」になれて幸運だと考えている。
- (2) ボランティアが、このような活動にアシスタントとして参加するとき、彼らは、一般大衆を情報収集の手助けに誘う価値ある調査技術、市民科学に従事しているのだ。その中には科学の教師や生徒もいるが、ほとんどは、自然で時間を過ごすことを楽しむアマチュアにすぎない。彼らはまた、科学者を助け、間接的に環境を守る手助けをしていることを誇りにしている。彼らが関わっている運動は、新しいものではない。実は、そのルーツは100年以上もさかのぼる。この種の最初期のプロジェクトの1つは、1900年に、全米オーデ

- ユボン協会によって始められた、クリスマス・バード・カウントである。しかしながら、市民科学プロジェクトはこれまでに急増している。そのうちの 60 以上が、先ごろ、アメリカ生態学会の会合で言及された。
- (3) 正式な研究において、プロの科学者や他の専門家は、できるだけ高い水準を維持する必要がある。妥当であると認められるためには、研究は徹底的であるばかりでなく、客観的で正確でなければならない。市民科学者は、細部に至るまで必要な集中力を維持することはできない、とか、アマチュアは調査の状況を誤解したり情報を収集して整理する際に、間違いを犯しがちだ、と主張する人も中にはいるかもしれない。つまり、市民科学は本当に信頼できるものとみなせるのだろうか。
- (4) 2つの最近の研究は、それが可能であることを示している。1 つ目は、ボランティアの知識と技術に焦点を当てた。この研究では、科学者が、ボランティアに、アメリカ合衆国の大西洋岸のカニの種類を特定するように依頼した。ほとんどすべての成人ボランティアがその任務を果たし、小学3年生の生徒でさえ成功率が 80%だったことがわかった。2 つ目の研究は、プロとプロでない者の手法を比較した。厳密で伝統的な手順に従って、12 人のスキューバダイバーの団は、カリブ海で 106 種の魚を特定した。ボランティアにとってよりくつろげて楽しくなるよう、プロが考案した手順を使って、12 人の別のダイバーの団が、同じ水域で同じ時間を費やした。驚くべきことに、2 番目の手法の方がはるかに成功を収めたのだ。この団は、合計 137 種を特定したのだ。このような結果が示唆しているのは、アマチュアが手助けした調査は、科学者が計画すれば信頼に値する、ということである。
- (5) 最高の市民科学プロジェクトは、双方が得をする状況である。一方で科学界は、よりお金をかけずに、別の方法で入手する場合よりもずっと多くのデータを入手する。他方、市民科学は、一般大衆にとってよいものである。それは、人々を自然界に誘い、科学的方法に関わらせる。さらに、機具を用い、データを収集し、発見結果を共有するための訓練が組み込まれた、計画性の優れた研究に参加すれば、人々は新しいアイデアや技術について学んだという満足感を得ることになる。
- (6) 私は、市民科学者を使った科学的研究のリストが急速に長くなりつつあることは、励みになることだと思う。それでも、私たちは、市民科学の可能性を認識し始めたばかりである。ボランティアがプロの研究にいかに関与しうるかを、より多くの科学者が理解する必要がある。私の考えでは、「人々のための科学」という古い保守的な見方を、「人々による科学」というより民主的な見方を含む見方に広げるべき時は、今である。